

事故情報対応チームとして消費者への注意喚起や事業者等の取組の要請を行った事案について

○介護ベッド用手すりの事故

平成22年9月に、介護ベッド用手すりに利用者の頭が入り重傷を負う事故が発生したことをはじめ、介護ベッド用手すりのすき間に頭や首、手足等を挟む事故等がこれまでに計37件（死亡15件、重傷22件）発生していることを受けて、消費者への注意喚起を行う（平成22年10月1日公表）とともに、厚生労働省に対して関係施設への注意喚起を、また、経済産業省に対して関係事業者・団体への働き掛けをそれぞれ要請した（平成22年10月8日公表）。その後発生した同種事故では、医療機関が要請の内容を知らなかったため、厚生労働省に対して全関係施設の施設管理者への再度の注意喚起を依頼した（平成23年2月4日公表）。



介護ベッド用手すり



（簡易部品の装着後）

○ベビーカーの脱輪等による事故の防止

平成22年9月に事業者からNITEへ、ベビーカーの車輪が外れる事案（人的被害なし。）の報告があり、類似事案を調べたところ、特定製品に偏ってないが、左右の車輪をつなぐフレームがとれる等の情報があった。子ども等の事故防止のために、ベビーカーを使用する消費者に注意喚起を行うとともに、事業者団体に品質管理の徹底等の要請を行った（平成22年10月7日公表）。また、全国ベビー&シルバー用品連合会ベビーカー連絡協議会が発行する、ベビーカーを安全に使用するための日常の自主点検のポイントをまとめたリーフレットを参考にしながら事前点検を行うよう、消費者へのお知らせを行った（平成23年2月24日公表）。



ベビーカー使用の際の注意事項



自主点検のポイント（リーフレット）

○携帯型音楽プレーヤーが過熱する等の事故

携帯型音楽プレーヤー（iPod nano（第1世代））の過熱等事故の多発に伴い、平成22年8月11日にアップルジャパン社が消費者の申出により対象全品のバッテリー交換を行う旨を公表したが、9月にも複数の事故情報があり、中にはバッテリー交換のことを知らない消費者もいた。同社に対し一層効果的な広報を要請するとともに、当庁でも消費者に注意喚起を行った（平成22年10月13日公表）。



iPod nano（第1世代）

○乳児用の寝返り防止用枕の使用に伴う米国での事故

米国消費者製品安全委員会（CPSC）及び米国食品医薬品局（FDA）が、乳児用の寝返り防止用枕の使用に伴う乳児の窒息死の事例（過去13年間で12件報告）を踏まえ、当該製品の使用を控えるよう呼びかけたことを受けて、当庁では国内での事故情報は把握していないものの、消費者に注意喚起を行った（平成22年10月14日公表）。



寝返り防止用枕のイメージ



危険な向きで寝ている乳児のイメージ

○エアゾール式簡易消火具の破裂事故

ヤマトプロテック社製のエアゾール式簡易消火具が破裂する等の事故が多発しており、同社が自主回収しているものの未回収品も多数あることから、当庁でも注意喚起を行った。また、同社に対し消費者からの問合せ体制を強化して回収等をさらに積極的に行い、同社の連絡先の周知の取組を要請するとともに、流通事業者団体や地方公共団体、消費者団体等に周知の協力を要請した（平成22年10月22日公表）。



自主回収対象製品



破裂時の写真

○「アクアビーズアート」シリーズの玩具による事故

ビーズを並べて水をかけ乾かして作品を作る玩具（エポック社製「アクアビーズアート」シリーズ）に関して、ビーズが幼児等の耳に入り医療機関で除去したとの事案を受けて、同社に対し同製品を購入した消費者も含めて注意を促し事故防止に一層取り組むよう要請するとともに、当庁でも消費者への注意喚起を行った（平成22年10月28日公表）。



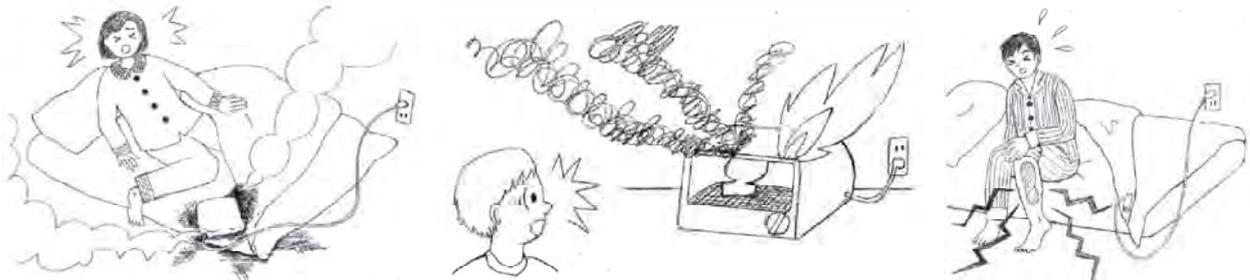
製品パッケージの一例



製品の一例

○冬の事故やトラブルに関する注意喚起

平成22年10月以降、「電気あんかを今季初めて使用した際本体と周辺が焦げた」、「今季初めて加湿器を使用した際発煙」、「オーブントースターで餅を焼いた際餅が電熱部に接触し発火」等の情報が寄せられたため、寒い季節を迎え事故に遭わないよう注意する点（使う前によく確認、つけたままその場を離れない、低温やけどに注意）をまとめた（平成22年11月24日公表）。



冬に起きやすい各種の事故やトラブルのイメージ

○除雪機の取扱いに関する注意喚起

除雪機については、平成19年5月に重大製品事故の報告制度が実施されて以来12件の死亡・重傷事故が発生しており、降雪シーズンを迎え除雪機の取扱いに関する注意喚起を行った（平成22年11月24日公表）。その後、医療機関ネットワーク事業の参画医療機関から除雪機に関する事故の情報が2件寄せられ、この他にも除雪機に轢かれて死亡する等、今冬で少なくとも50人以上が死亡・負傷していたことが分かり、改めて注意喚起を行った（平成23年2月9日公表）。



除雪機安全協議会の啓発チラシ

○ローラースケートの車輪のボルトの緩みなどによる事故の防止

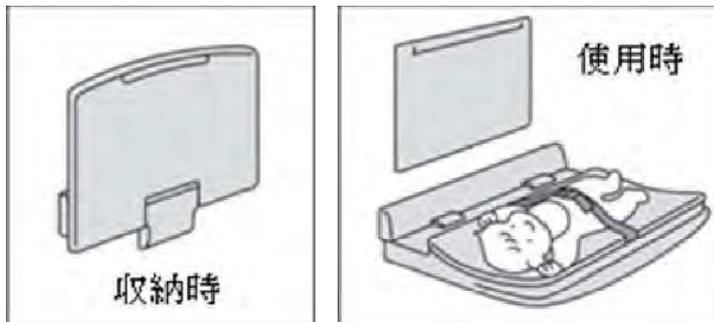
米国消費者製品安全委員会（CPSC）は、一部インラインスケートの車輪のボルトが緩み、使用者が転倒、負傷する危険性があるため自己点検を呼び掛けた。国内では事故の報告はなかったが、製品の一部が販売されており、インラインスケートを含むローラースケートについて、車輪等の異常の有無を点検し、緩み等がある場合には締めるよう注意喚起を行った。（平成22年12月3日公表）。



対象製品の写真

○おむつ交換台からの転落による事故

平成22年11月に、保護者が公共施設のトイレにあるおむつ交換台にベルトを締めた上で乳児を乗せ、別の幼児に小用させていた際に乳児がおむつ交換台から転落し頭部を打撲したとの事故の通知があった。転落防止の警告表示があったが、消費者へ注意喚起するとともに、関係省庁、都道府県等を通じて地方公共団体の公共施設や商業施設等にあるおむつ交換台に関し、警告表示貼付の徹底や点検の実施等を施設管理者へ要請した（平成22年12月21日公表）。



おむつ交換台のイメージ図（国民生活センター提供）



「警告表示」の例（TOTO株式会社及びコンビウィズ株式会社提供）

○入浴施設の排(環)水口による事故

平成22年11月に、入浴施設でジェットバス側面の排(環)水口の蓋が外れていて子どもの足先が吸い寄せられたとの事故の通知があった。プールでは平成18年に排(環)水口への子どもの吸込み死亡事故が発生したため、「プールの安全標準指針」により関係省庁から設置管理者に適切な管理運営等を求めている。今般、厚生労働省を通じて入浴施設の業界団体等に、同指針を参照し吸込み事故防止の措置を適切に講じるよう周知等を要請した（平成22年12月28日公表）。

○飲食物に似ている商品の誤飲・誤食

平成23年1月に、幼児がペットボトル入り液体入浴剤をお茶と間違えて飲み、意識がなくなったとの事故の情報があった。この製品以外でも飲食物に似た商品の市販を確認しており、誤飲・誤食事故の防止のため、消費者に注意喚起を行った（平成23年1月17日公表）。



飲食物に似ている入浴剤・石けんの例

○滋賀県高島市で発生したエア遊具の事故

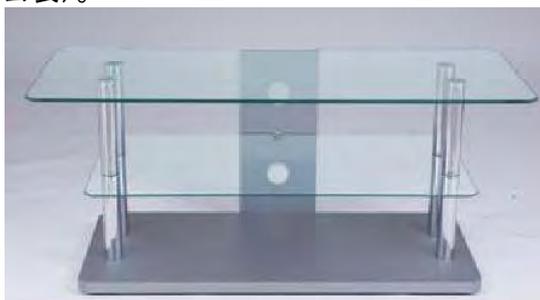
平成22年11月に滋賀県高島市で、エア遊具が強風にあおられてひっくり返り上で遊んでいた約20人の子どもが転落し3人が頭を打つなどのけがをしたとの報道があった。事故防止の取組として、日本エア遊具安全普及協会が策定した「安全運営の10ヶ条」を活用しながら、地方公共団体及び関係事業者に対しいエア遊具に関する安全管理の徹底を要請することにした（平成23年1月31日公表）。

○パワーウインドによる指等の挟込み事故

パワーウインドによる指等の挟込み事故については、平成22年に関係省庁等をメンバーに「パワーウインドによる挟込み事故に関する検討会」を開催し対応を取りまとめたが、その後も事故が発生したとの情報があるため、消費者に改めて注意喚起を行った（平成23年2月17日公表）。

○テレビ台（強化ガラス製）のガラスが割れる事故

ジャパネットたかた社が販売したテレビ台の強化ガラス製の天板や棚板が割れる事故が発生している旨の情報を得た。同社は、製品の使用に不安のある消費者に代替品と無償交換を行うが、代替品到着まで強化ガラスの取扱いに注意するよう呼び掛けていたが、当庁でも、消費者に対し、製品の上にはテレビ等、物を置かないようにするなど、注意喚起を行った（平成23年2月21日公表）。



ジャパネットたかた社が販売したテレビ台の対象機種の一例

○乳児用おしゃぶり玩具製品「SASSY リフレッシュ・リングス」の表面素材の剥離

平成23年1月31日に米国CPSCは、乳児用おしゃぶり玩具製品「SASSY リフレッシュ・リングス」の一部が剥離して子どもの誤飲防止のため、事業者が自主回収している旨を発表した。日本の輸入事業者は、販売中止のほか、表面素材に傷があったときは同等品との交換を呼び掛けていたが、当庁では、消費者に対し、表面素材の剥離を確認し、傷があれば事業者へ連絡するよう注意喚起を行った（平成23年2月24日公表）。



「SASSY リフレッシュ・リングス」と傷の確認内容

○自転車用幼児座席の足乗せ部の破損・脱落

ブリヂストンサイクル社は、平成22年9月から金属製の自転車用幼児座席を樹脂製製品へ無償交換しており、当庁も注意喚起の他、平成23年1月には地方公共団体に消費者への注意喚起等の協力を要請したが、1月以降にも子どもの足が車輪に巻き込まれた事故の情報があったので改めて注意喚起を行った。同社製品以外にも、自転車用幼児座席の足乗せ部が破損したなどの情報が1月以降3件あり、取付け、使用に関する注意喚起を行った（平成23年3月11日公表）。



ブリヂストンサイクル社のリコール対象製品と交換用製品（同社ウェブサイトより）

○マクラーレン社製ベビーカーの挟み込み事故

英国マクラーレン社製ベビーカーのヒンジ部分で子どもが指を挟み込む事故を防止するため、当庁ではこれまでに注意喚起を行い、また、輸入事業者では安全対策カバーを無償配布しているが、その後も子どもが指を挟み込み負傷した等の事故の情報が寄せられたことから、消費者に対し、改めて注意喚起を行った（平成23年3月31日公表）。



安全対策カバー配布対象製品の一部



ベビーカーのヒンジ部分